

## ベルマーク新聞 4月号

発行 公益財団法人ベルマーク教育助成財団 東京都中央区築地5-4-18 汐留イーストサイドビル7階 〒104-0045 電話 03-5148-7255(代表) 郵便振替口座 00100-7-56035  
大阪事務所 大阪市北区中之島2-3-18 朝日新聞大阪本社内 〒530-8211 電話 06-6231-0131 ダイヤルイン 06-6201-8031 ホームページ <http://www.bellmark.or.jp/>

## 世界の子どもの窮状知り、マーク集め

 香川・桑山小6年生

海外の子どものためにベルマークを集めた桑山小の6年生のみなさん

貧困や戦火に苦しむ世界の子どもの窮状を学んだことをきっかけに、香川県三豊市立桑山小学校(秋山和範校長、132人)の6年生33人が、半年ほどで約7200円分のベルマークを集めました。「自分たちができることをしよう」と校内だけでなく、地域の家々にもチラシを配って歩きました。ベルマーク財団を通じて、発展途上国の子どもや学校を支援する2事業と東日本大震災の被災地支援に充てられました。

昨年4月、総合学習の時間に担任の石

田由香里先生が、あるビデオを見せました。過酷な状況で生きる子らを取り上げた「世界がもし100人の村だったら」というテレビ番組です。

ワクチンがないままポリオにかかり、歩けなくなって地べたをはい回るニジュールの男の子。ダイヤモンドの利権をめぐる内戦で両親を目の前で殺され、鉱山で働くシエラレオネの男児……。見終わった後、教室は静まりかえりました。

10年ほど前の番組でした。「いまも同

じょうなことが起きているのか調べてみよう」。インターネットや本などで調べていくと、現在もなお世界のあちこちでたくさんの子どものたちが苦しんでいることがわかりました。「何かしたい」。自分たちでできることを探し、悩んだ末に見つけた方法がベルマークでした。

秋ごろから活動を始めました。ポスターを学校の玄関に張り、全校集会で協力を呼びかけました。思うように集まらず、11月には地域の人々に協力を求めるチラシを作りました。休日に手分けし

て700世帯ほどを回りました。

大きな反響がありました。学校にベルマークを持ってきてくれる人が相次ぎ、職場で集めてくれた保護者もいました。「すばらしいことに取り組んでいますね」などと書かれた励ましの手紙も届きました。

12月末に集計するとマークは5616点に上りました。財団の海外援助から、マダガスカルの学校に給食を提供する取り組みと、カンボジアの障害のある子らを支援する計画を選びました。2月末までにさらに約1600点が集まり、東日本大震災の被災地向けに寄付しました。

ベルマーク係(7人)の菊池杏奈さんと木下翔輔君は、「こんなに集まるとは。仕分けと集計に苦労しました」と振り返ります。最初は係だけで仕分けをしていましたが、やがてみんなが協力してくれるようになったそうです。同じくベルマーク係の森あずきさんは「苦しむ子らの役に立ててうれしい。ほかにも自分ができることを探したい」。石田先生は『何とかしたい』という一人ひとりの思いが、学び、行動し、最後までやり抜く力になったと思います」と、みんなの頑張りをたたえます。

ベルマーク収集は地域の人々の優しさも実感させてくれました。3月、子どもたちは報告とお礼の手紙を書いて再び家々を訪ね、心を込めて手渡しました。

桑山小のみなさん、  
どうもありがとう!!



## 台風禍の離島に本が届いた!

 ジブラルタ生命が鹿児島・喜界中にマーク13万点

届いた本を手にする喜界中学校の生徒たち(喜界中提供)

昨夏の台風で図書室が水浸しになった鹿児島県の離島・喜界島にある喜界町立喜界中学校に、協賛会社のジ

ブラルタ生命からベルマークが寄贈され、蔵書回復の一助となりました。

50年に一度とされる豪雨で、喜界中は図書室の本の半数近くが読めない状態になりました。このとき長元武彦校長が支援要請した先の一つがジブラルタ生命。学校社会とも縁が深く、東日本大震災以降は被災地校支援のためにベルマークを全社あげて集めている会社です。同社は、この年集めた113万点のマークのうち13万点を喜界中に寄贈。その点数を使って注文した93冊の本が昨年12月、学校に届きました。

長元校長は「本当に助かりました。子どもたちも、うれしそうに本を読んでいます。自分たちで欲しい本を選べるなんて、ベルマークの支援はすばらしい」と話していました。

ベルマーク説明会、  
5月8日スタート 新宿・広島・福岡、6月まで95会場

ベルマーク運動説明会は5月8日(月)に東京・新宿、広島、福岡の3会場です。6月22日(金)の宮崎・延岡まで95会場で開催します。どの会場も午前9時半開場、10時開会、正午終了の予定です。入場は無料です。

PTAの役員改選に伴い、新たにベルマーク運動に携わる方たちを主に想定していますが、個人でも参加できます。ベルマーク運動の仕組みやマークを集めて財団に送り、希望商品を購入するまでの流れと注意事項を映像も交えて説明します。2017年度は4924団体1万3465人が参加しました。会場によっては協賛会社によるあいさつや試供品の提供があります。